



2026年4月10日

各 位

会 社 名 株式会社タチエス
 代表者名 代表取締役社長 山本 雄一郎
 (コード番号 7239 東証プライム)
 問合せ先 経営企画室
 (TEL 0428-33-1138)

子会社の異動を伴う株式の取得及び特定子会社の異動に関するお知らせ

当社は、2026年4月10日開催の取締役会において、以下のとおり、①株式会社 TOYO H&I (以下「TOYO H&I」といいます。)が新たに設立し、②TOYO H&I が保有する株式会社東洋シート、Toyo Seat USA Corporation、TOYO SEAT Europe Autóalkatrész Gyártó és Kereskedelmi Korlátolt Felelősségű Társaság (英語名称：TOYO SEAT Europe Kft.)、Toyo Seat Hong Kong Company Limited、Toyo Seat Philippines Corporation 及び南条装備工業株式会社 (総称して、以下「TOYO H&I グループ」といいます。)の株式又は持分並びに TOYO H&I グループが営む自動車用シート及び内装事業に関連する資産等を会社分割 (吸収分割) の方法により承継させる株式会社タチエス トーヨー グループホールディングス (以下「本新会社」といいます。)の株式を取得し、子会社化すること (以下「本株式取得」といいます。)について決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本株式取得の実行時点における本新会社の純資産の額が当社の純資産の額の100分の30以上に相当するため、本新会社は、当社の特定子会社に該当することもあわせてお知らせいたします。

記

1. 株式の取得の理由

当社が2021年度より推進している中期経営計画 Transformative Value Evolution (通称 TVE) において、事業ポートフォリオの変革として3つの「シンカ」を設定しております。自動車用シート事業・シート部品事業を中心とする深い「深化」で収益力を上げ、そこで得た収益を進む「進化」、新しい「新化」に投資し、事業ポートフォリオを拡げ、成長させることを狙いとしております。

本株式取得は、2025年5月に発表した TVE Wave 2 2027 における「深化」の事業領域拡大に資するものであり、①顧客ポートフォリオの拡充、②製品の相互活用とアセット最大活用、③開発リソースの効率化と技術革新の創出、④事業領域の拡大の4つの領域でシナジーを見込んでおり、成長戦略の中で目指す2030年度売上高4,000億円の達成に大きく貢献すると共に、今後ともお客様へのより付加価値の高い商品・サービスの提供を通じ、「選ばれ続ける企業」として、企業価値向上を図ってまいります。

2. 異動する子会社 (株式会社タチエス トーヨー グループホールディングス) の概要 (予定)

(1) 名 称	株式会社タチエス トーヨー グループホールディングス (TACHI-S TOYO Group Holdings Co., Ltd.)
(2) 所 在 地	大阪市北区西天満 5-14-7-704
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 山口 徹
(4) 事 業 内 容	自動車用シート及び内装事業
(5) 資 本 金	1百万円
(6) 設 立 年 月 日	2026年4月22日

(7)	大株主及び持株比率	株式会社 TOYO H&I 100%	
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
		人的関係	該当事項はありません。
		取引関係	該当事項はありません。
(9)	当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態		
本新会社は、当社並びに TOYO H&I 及び株式会社 Marks Gatherway 間の株式譲渡契約締結後に設立される予定であるため、確定した事業年度はありません。			

3. 株式取得の相手先の概要 2025年12月31日現在

(1)	名 称	株式会社 TOYO H&I	
(2)	所 在 地	大阪市北区西天満五丁目14番7号	
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 山口 徹	
(4)	事 業 内 容	自動車用シート及び内装事業	
(5)	資 本 金	100百万円	
(6)	設 立 年 月 日	2019年4月1日	
(7)	純 資 産	29,587百万円	
(8)	総 資 産	29,588百万円	
(9)	大株主及び持株比率	株式会社 Marks Gatherway	70%
(10)	上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資本関係	該当事項はありません。
		人的関係	該当事項はありません。
		取引関係	該当事項はありません。
		関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1)	異動前の所有株式数	0株 (議決権の数:0個) (議決権所有割合:0%)	
(2)	取 得 株 式 数	200株 (議決権の数:200個)	
(3)	取 得 価 額	普通株式	21,200百万円
		アドバイザー費用等(概算額)	600百万円
		合計(概算額)	21,800百万円
(4)	異動後の所有株式数	200株 (議決権の数:200個) (議決権所有割合:100%)	

5. 日 程

(1)	取締役会決議日	2026年4月10日
(2)	契約締結日	2026年4月10日
(3)	株式譲渡実行日	2026年8月3日(予定)

6. 今後の見通し

本株式取得による当社の 2026 年 3 月期の業績への影響につきましては、現在精査中です。今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上

(参考) 当期連結業績予想 (2026 年 2 月 12 日公表分) 及び前期連結実績

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (2026 年 3 月期)	264,000 百万円	9,000 百万円	11,000 百万円	8,000 百万円
前期連結実績 (2025 年 3 月期)	285,394 百万円	9,625 百万円	10,768 百万円	11,310 百万円

TOYO H&Iグループの株式取得について

TACHI-S CO.,LTD.

2026年4月10日

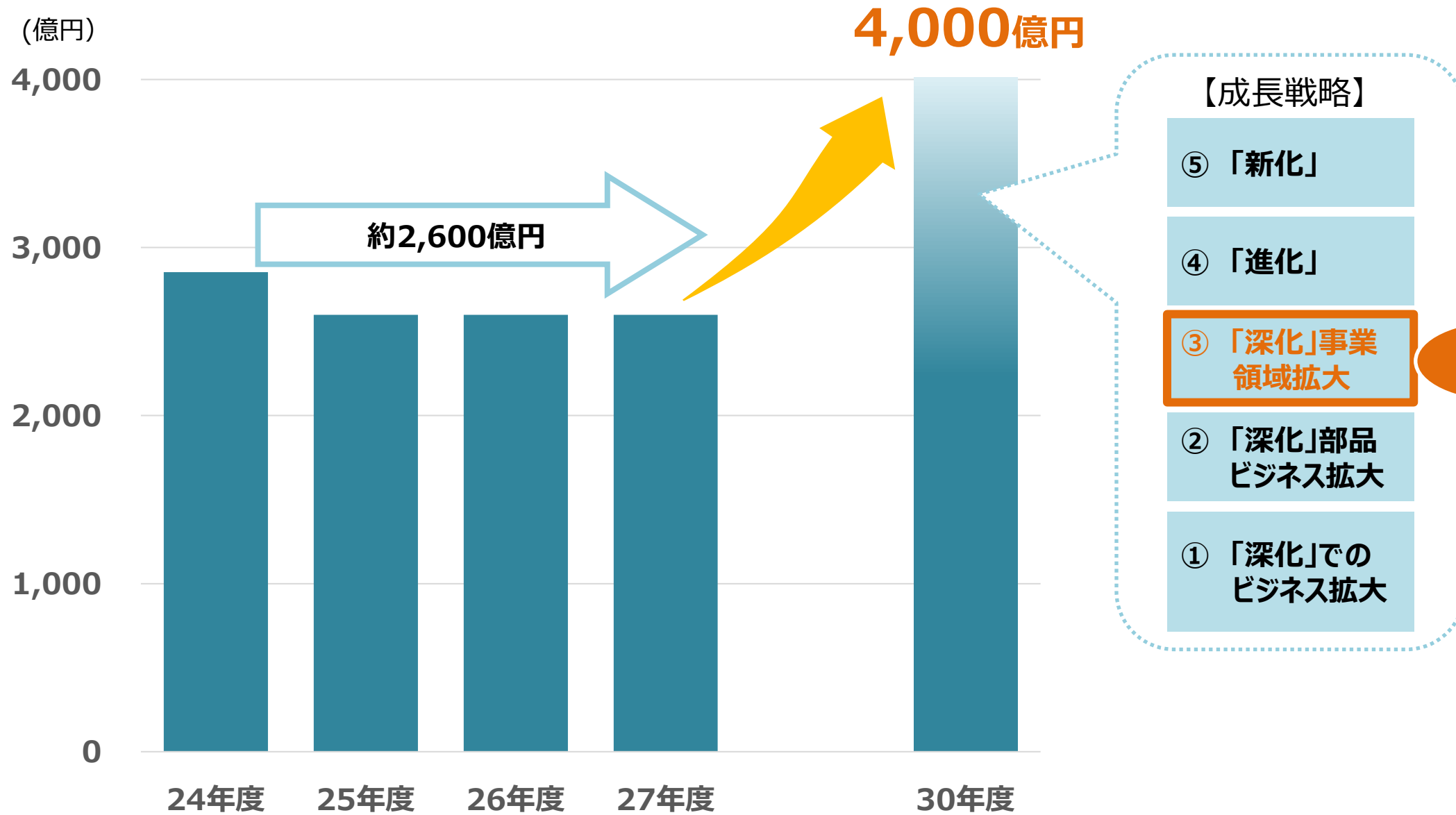


中期経営計画における本件の位置付け

- ・ 2030年度売上高4,000億円に向けた成長戦略の実行
- ・ 「深化」の事業領域拡大を通じたシートの付加価値向上に加え、“シート単体”から“シート+内装”へ事業領域を拡大

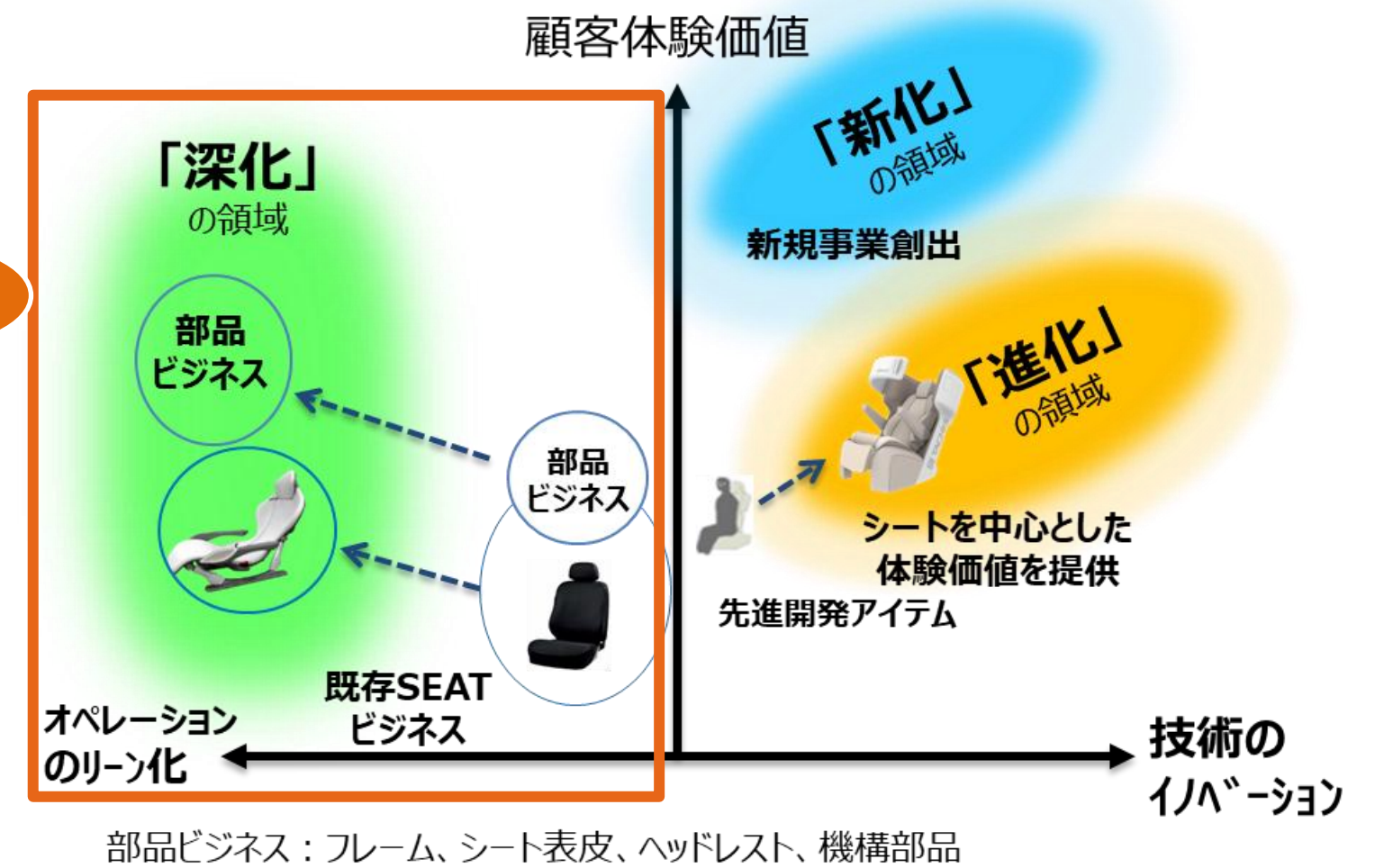
中期経営計画TVE Wave2 2027の概要と本件の位置づけ

売上高目標



事業ポートフォリオ戦略

当社の立ち位置と目指す方向性



本件の根底にある共通の精神

- 当社「互譲協調」・東洋シート「社員満足第一主義」・南条装備工業「和の精神」は、「人」を大切にする価値観で一致
- 「座る」や「空間」の創造を通じて社会貢献を目指すビジョンも一致しており、本件後の円滑な事業運営が可能



 TACHI-S

 TF-METAL

Nuiftec

 TACHI-S H&P

TOYO 
HOLDINGS & INNOVATIONS

 SHAPING THE FUTURE
TOYO SEAT

 NANJO

本件の取引概要

- 株式会社TOYO H&Iを吸収分割会社、新設会社を吸収分割承継会社とする吸収分割により、新設会社に対し、対象事業を承継させた後に、当社が新設会社の発行済株式の全てを現金対価で取得

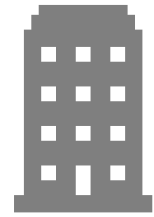


対象事業	TOYO H&Iグループ ⁽¹⁾ の株式又は持分並びに自動車用シート及び内装事業に関連する資産等
株式取得価額	212億円
買収資金	手元現預金及び外部借入にて対応予定 ※エクイティファイナンスの実施予定は無し
契約締結日	2026年4月10日
クローリング予定日	2026年8月3日

注：(1) 株式会社東洋シート、Toyo Seat USA Corporation、TOYO SEAT Europe Kft.、Toyo Seat Hong Kong Company Limited及びTOYO SEAT PHILIPPINES CORPORATION並びに南条装備工業株式会社

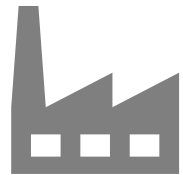
TOYO H&Iグループ 概要

概要(1)



グループ会社数
23社

- 連結子会社: 11社
- 持分法会社: 8社
- その他関連会社: 3社



工場
27工場

- 連結子会社: 19工場
- 持分法会社: 7工場
- その他関連会社: 1工場



生産拠点
7カ国



連結売上高 (FY24) (2)
929億円

主な製品

自動車用シート



東洋シートメイン製品

- 1974年の創業以来、自動車用シートのスペシャリスト企業として「座る喜び」を追いかけ、幅広いニーズに応じたシートを生み出し続けている

ドアトリム



南条装備工業メイン製品

- 内装部品の中でも多くの加飾や操作スイッチを必要とするドアトリム（ドア室内側の部品）を製造し、マツダ車のドアトリムの9割のシェアを占める
- 機能性だけでなく、デザイン性が高い点も特徴

内装関連商品



- シートフレームやシートスライドなど、自動車シートや自動車に関連する様々な機構部品の開発・製造を手掛ける

その他



- 1970年、ベビーカーの生産開始をきっかけに生活用品の製造へと進出
- 現在では鉄道用シートや、介護福祉用シートの開発・製造を手掛ける

注：(1) 2026年3月末時点の数値（除く連結売上高） (2) 監査未実施の簡易的な連結数値

東洋シート 会社概要

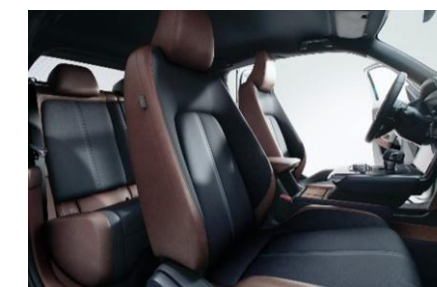
- マツダやスズキを主要顧客とし、自動車用シートの開発・製造を主軸にグローバルに展開
- 自動車用シート部品の内製による一貫生産と開発力が強み

基本情報

商号	株式会社東洋シート
本社	広島県安芸郡海田町国信1-6-25
設立	1947年5月21日（昭和22年）
資本金	1億円
売上高	368億円（2025年度）
従業員数	782名（2026年2月）
株式	非上場
事業内容	自動車用シート・自動車用コンバーチブルトップ・機構部品等の開発・製造・販売
主要取引先	マツダ・トヨタ紡織・アディエント・富士シート
代表者	代表取締役社長 渡邊 新司

特徴

- **永年の実績と信頼性**
自動車用シートにおいて高い技術力と豊富な実績を持ち、特にマツダ向けは高いシェア
- **海外展開とグループ企業**
米国・フィリピン・ハンガリー・中国・メキシコ・インドなどに拠点を持つ、グローバルな供給体制
- **シートデバイスを自社で開発・製造**
競争力が高く、多くの拠点で生産する幅広い供給体制
- **コンバーチブルトップ事業**
手動式から電動式まで幅広いスタイルのコンバーチブルトップを、開発から製造まで一貫して対応可能



南条装備工業 会社概要

- マツダを主要顧客とし、ドアトリムの開発・製造を主軸にグローバルに展開
- 立体縫製技術や樹脂成形技術などの独自技術を多数保有する高い技術力が強み

基本情報

商号	南条装備工業株式会社
本社	広島県広島市南区西荒神町 1 - 8 テリハ広島5F
設立	1965年2月（昭和40年）
資本金	1億円
売上高	237億円（2024年度）
従業員数	972名（2024年度）
株式	非上場
事業内容	自動車内装部品の開発・生産・販売
主要取引先	マツダ・ダイキョーニシカワ・トヨタ紡織
代表者	代表取締役社長 山口 雄司

特徴

- **日本のマツダ向けドアトリムで高いシェア**
永年の協業により、マツダ車の内装部品において独占的なポジションを確立
- **海外展開とグループ企業**
中国・メキシコに拠点を持つ、グローバルな供給体制
- **高い技術力と独自性**
立体縫製技術や樹脂成形技術など、業界に先駆けて開発した独自技術を多数保有
- **一貫した生産体制**
デザイン性や手触り感などの質感向上を開発から製造まで一貫して対応可能



本件により目指す姿・狙い

目指す姿

- 当社及びTOYO H&Iグループの保有する顧客とビジネス領域を組み合わせ、両社の事業を発展させ企業価値を高める
- 当社及びTOYO H&Iグループの保有する技術・ノウハウ・リソースの相互活用・相互補完と両社の部品の相互活用及び共用化により、製品競争力の強化を図る

狙い

①

顧客ポートフォリオの拡充

②

製品の相互活用とアセット最大活用

③

開発リソースの効率化と技術革新の創出

④

事業領域の拡大

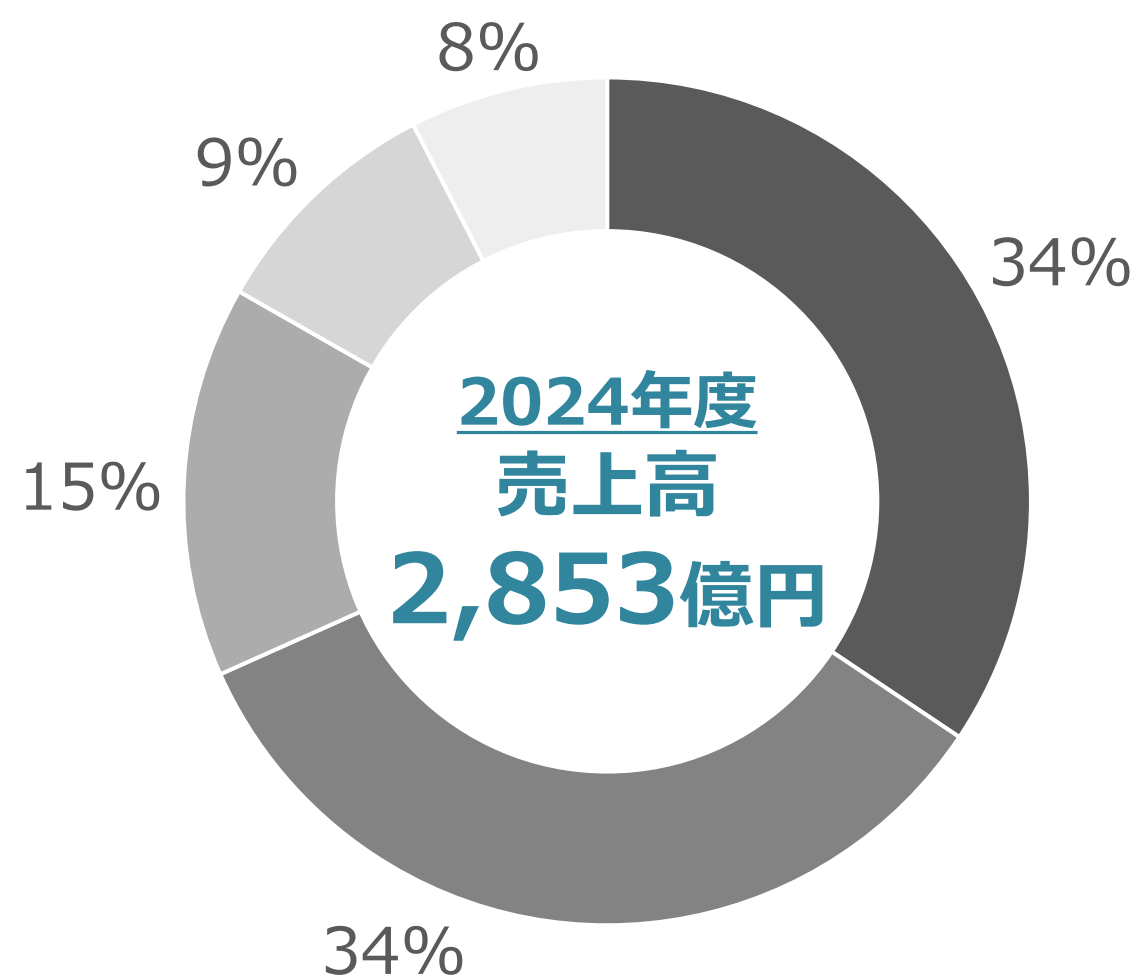
① 顧客ポートフォリオの拡充

- 当社の顧客ポートフォリオに、TOYO H&Iグループの顧客であるマツダ・スズキが加わることで、独立系シートメーカーとしての顧客基盤が一層強化され、将来的な新規ビジネス獲得機会が拡大

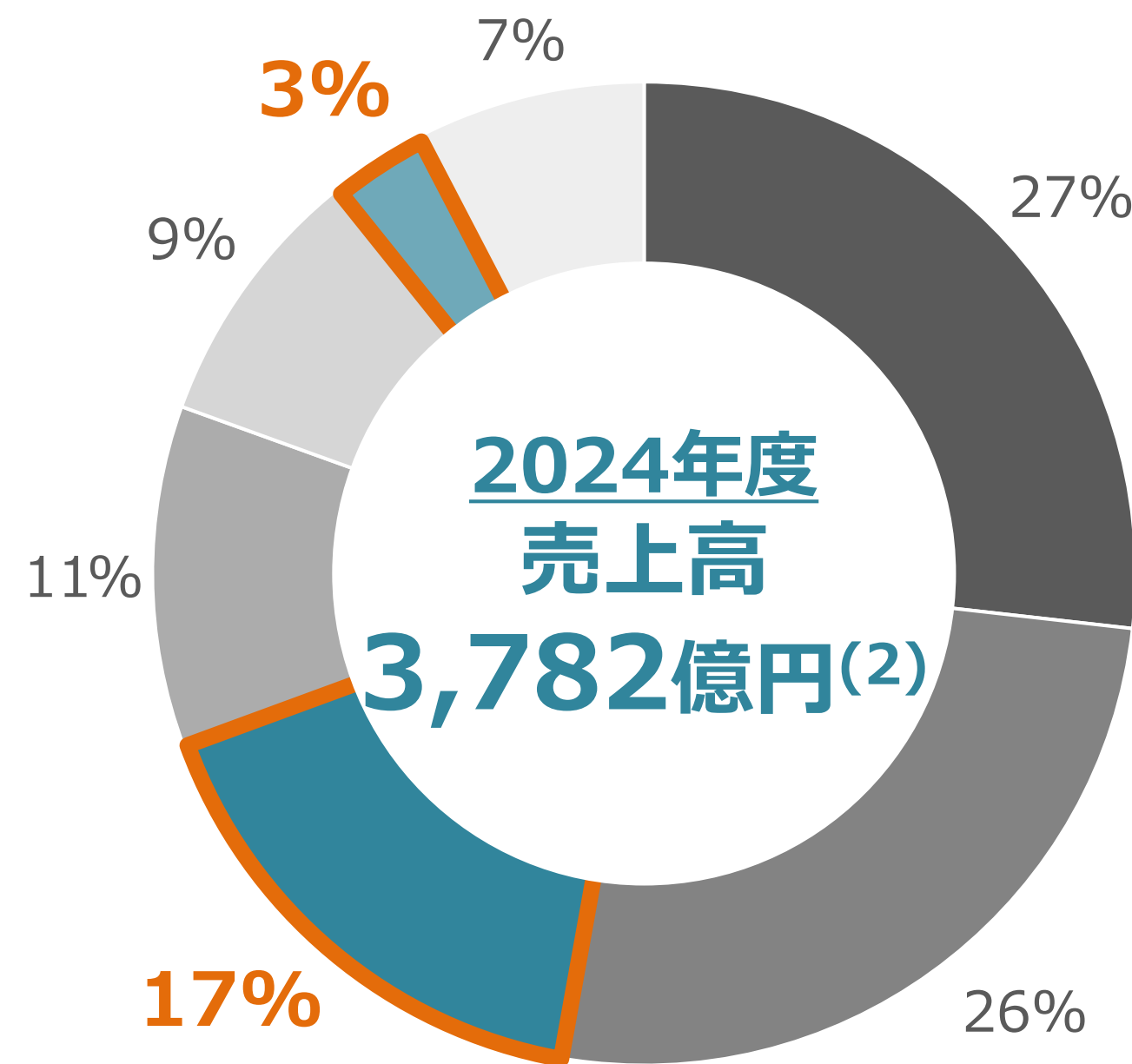
圏別売上高(1)

■ 日産圏 ■ ホンダ圏 ■ 三菱圏 ■ トヨタ圏 ■ マツダ圏 ■ スズキ圏 ■ その他

現状



本件後イメージ



注：(1) 当社2024年度連結売上高に、TOYO H&Iグループの連結売上高を単純合算した数値。但し、TOYO H&Iグループの連結売上高は監査未実施の簡易的な連結数値

② 製品の相互活用とアセット最大活用

- 両社が保有するシートデバイスの相互活用により、製品ラインナップを補完し合うことで、提案力を向上
- 製品ラインナップにドアトリムを追加し、シート+内装部品へ領域を拡大させ開発力を強化
- トリムカバーなど双方の保有アセットの最大活用及び樹脂成形の追加により、収益力を向上



シートデバイス



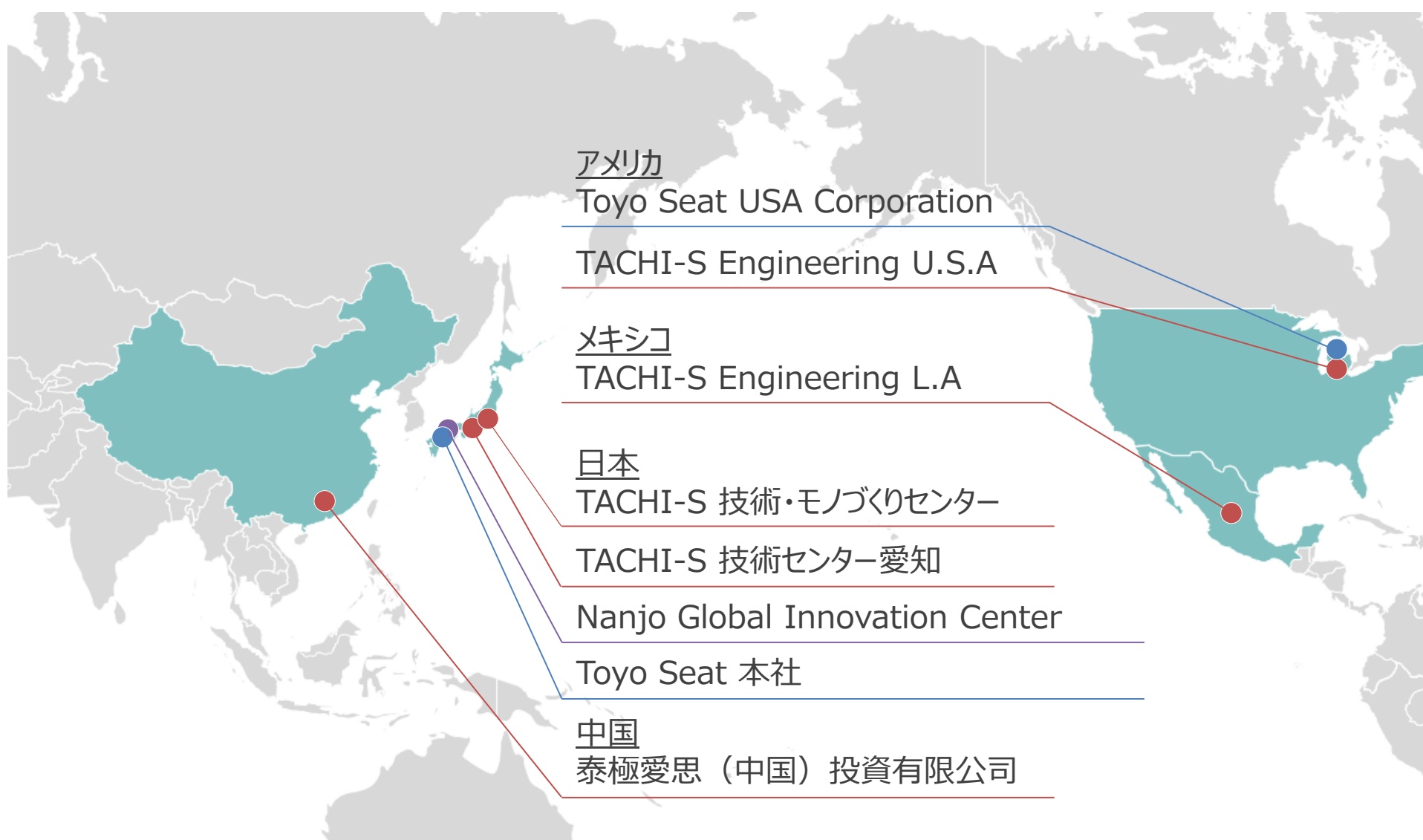
保有アセット



③ 開発リソースの効率化と技術革新の創出

- 日本・アメリカ・メキシコ・中国で開発機能を補完し合いグローバル開発体制を構築することで、グローバル開発力を強化し、お客様の要望にタイムリーに対応
- 両社の永年の開発実績に基づく知見・ノウハウ・技術を相互活用し開発効率を向上させることで、幅広いOEMとの取引関係を有する独立系の強みを更に活かし、提案力を強化
- 開発効率向上により生み出したリソースを活用し、技術革新を創出

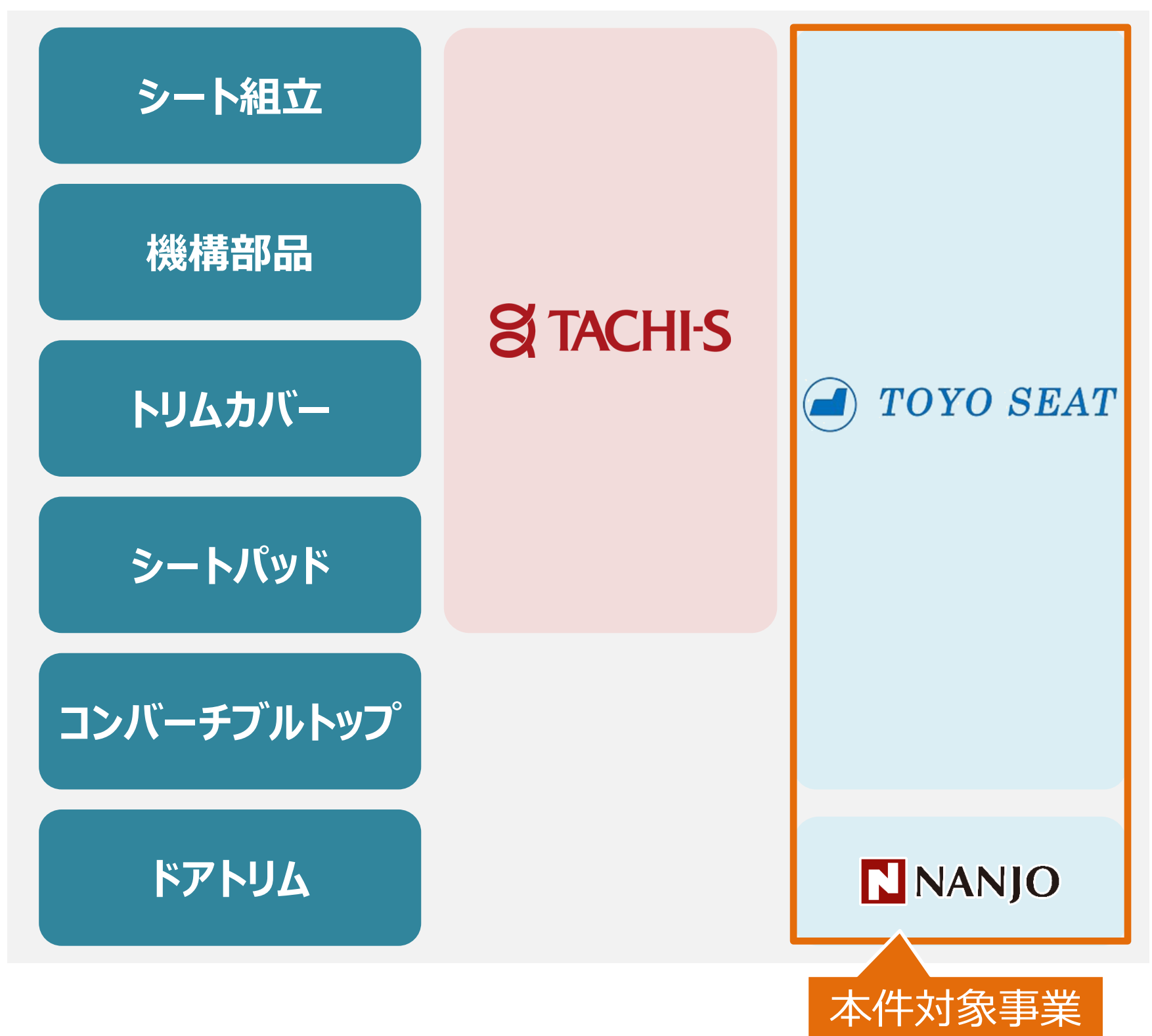
グローバル開発拠点



	日本		アメリカ		メキシコ		中国	
	R&D	実験	R&D	実験	R&D	実験	R&D	実験
当社	○	○	○	—	○	○	○	○
東洋シート	○	○	○	○	—	—	—	—
南条	○	○	—	—	—	—	—	—
本件後	○	○	○	○	○	○	○	○

④ 事業領域の拡大

- 東洋シートと南条装備工業を迎え入れることで、当社グループの事業領域が拡大



- 既存製品で培った技術で新たな体験価値を提供する『進化』領域へ



本件の想定効果

- TOYO H&Iグループの売上の貢献に加え、協業シナジーの発現により、売上高を拡大
- また、TVE Wave2 2027の財務目標であるROIC8.0%及びROE10.0%の達成に向けて、着実に前進する見込み

	2024年度	本件後イメージ	目標値
売上高	2,853億円	約3,500億円～	4,000億円 (2030年度)
ROIC	6.6%	約7.5%～	8.0% (2027年度)
ROE	8.2% ⁽¹⁾	約10.0%～	10.0% (2027年度)

注：(1) 固定資産売却益調整後の数値

“座る”を追求し人と地球を支える



Global Seat System Creator

本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来に関する見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、不確実性やリスクを含んでおります。

したがって、実際の結果は様々な要因によって見通しと異なる可能性があります。ご了承ください。